

## 制振工学研究会のための新しい文献分類コードの提案

○大石 久己 (工学院大)	高田 省一 (都立産技研)	坂場 晃三 (特許機器)
尾崎 雅亮 (神奈川産技総研)	出羽 宏視 (茨城大学)	新田 隆行 (日本特殊塗料)
山口 道征 (ブリヂストン)	佐藤 利和 (松下インターテクノ)	

A Proposal of New Key Words and Code Table for Society of Damping Technology		
Hisami OHISHI (Kogakuin University)	Shoichi TAKADA (Tokyo MITRI)	Kohzo SAKABA (Tokkyokiki Co.)
Masaaki OZAKI (Kanagawa ITRI)	Hiroshi DEWA (Ibaraki University)	Takayuki NITTA (Nihon Tokushu Toryo Co.)
Michiyuki YAGAGUCHI (Bridgestone Co.)	Toshikazu SATOH (Matsushita Inter-Techno Co.)	

概要：文献調査分科会では、制振材料に関する文献を独自の分類コードに基づいて分類してきたが、研究分野の変化に伴い分類が偏ったり、分類困難な場合があり、より適切なキーワード表の検討が求められている。今回は、その一案を示し、会員からの多くの意見を伺うことを目的とする。また、文献入力書式を示し、文献情報の提供の協力をお願いする。

Key Words: キーワード, 研究分野, 制振工学

### 1. はじめに

制振工学研究会の文献調査分科会では、研究会に関連した文献について調査、情報収集を行い、「文献情報速報」と「文献情報」を会員へ情報提供してきた。また、Damping 1986, 1989, 1991, 1993 の要約集をまとめ、表1に示す研究会独自のキーワードと分類コード表により、文献を分類してきた。しかし、コードが対応できない場合もあり、より適切なキーワード表の検討が求められている。そこで、キーワード表の一案を示し、会員からの多くの意見を伺うことを目的とする。

また、会員からの文献情報を共有できるシステムを構築するため、文献入力の書式を提案し、それに基づいた文献情報の提供もお願い

する。

### 2. 従来のキーワードとコード表

従来のキーワードとコード表は、表1に示すように、A：材料，B：製造・加工，C：計測・評価，D：解析・適用，E：応用分野の大分類と、その下のいくつかの小分類項目から成る。

データベースなどの検索においては、文献のタイトル・概要中の用語もキーワードとして検索することができる。また、文献には既にキーワードが掲載されている場合が多いので、それらをそのまま利用することができる。そのため、この表1の分類は、調査・収集した文献を分類する場合は、それらの文献の本